

各地で党大会

新代表に武井さん選出

■党埼玉県連大会

【埼玉】党県連は4月22日、第23回定期大会をさいたま市で開き、約80人が参加。衆院選勝利に向けた新年度の活動計画案を採択するとともに、武井誠代表

（坂戸市議）と川辺美信幹事長（久喜市議）を先頭とする新執行部を選出した。今大会で退任した佐藤征治郎代表はあいさつで、自らの戦争体験に触れながら、「戦前と似ているといわれるが、そういう時代だと

冒頭、福司山宣介代表は「子どもの貧困をはじめ暮らしの身近な課題をしっかりと把握し、それらの改善に向けて、国政はもちろ

をどう築くのか。経済政策の転換を求めていくことだ」と述べた。質疑では「平和を守るためにはどうしていくか具体的な提起をすべき」と出雲市議選では30%以上の有権者が棄権した。生活が苦しいのでおらが村の代表を、と

なっている「党として労働相談窓口の設置を」など、9人の代議員から活発な意見が出された。また、今秋戦われる浜田市議選と吉賀町議選に立候補予定の小川稔宏さんと藤原勝彦さんが、決意を表明した。



↑大会に80人が参加した（4月22日、さいたま市）。

【鹿児島】党鹿児島総支部は4月14日、鹿児島市内で定期大会を開き、代議員ら45人が参加した。

野呂正和さんが決意

■党鹿児島支部大会



↑野呂さん。

の候補者擁立へ向けた取り組みや、SNSの積極活用への意見、そして20代の新人代議員からの「いろいろな強して頑張っていく」とい

最後に、尼崎市議選（5月28日告示、6月4日投票）に立候補予定の宮城重幅副代表と綿瀬和人副幹事長が市議選を戦う決意を語り、全体で必勝を誓った。



↑60人が参加した（4月30日、尼崎市）。

SNSの積極活用を

■党兵庫県連大会

【兵庫】党県連は4月30日、尼崎市内で第17回定期大会を開催し、代議員など約60人が参加した。

梶川美佐男代表のあいさつに続いて、来賓の服部良一全国連合常任幹事、井戸敏三兵庫県知事、民進・新社・みどりの各政党代表などから連帯のあいさつを受けた。

う決意表明など、活発な発言があり、運動方針を満場一致で採択した。